

## 第1回福島イノベーション・コースト構想関係閣僚会議 議事要旨

日 時：平成29年7月28日（金） 9：35～9：55

場 所：官邸4階大会議室

出席者：安倍晋三内閣総理大臣、吉野正芳復興大臣（共同議長）、世耕弘成経済産業大臣（共同議長）、石井啓一国土交通大臣、塩崎恭久厚生労働大臣、山本有二農林水産大臣、高市早苗総務大臣、山本公一環境大臣、山本幸三国務大臣、松本純国務大臣、松野博一文部科学大臣、野上浩太郎内閣官房副長官、橘慶一郎復興副大臣、長沢広明復興副大臣、高木陽介内閣府原子力災害現地対策本部長兼経済産業副大臣、若宮健嗣防衛副大臣、豊田俊郎内閣府大臣政務官

議事の概要：

### （1）開会挨拶

吉野復興大臣から、福島イノベーション・コースト構想を福島特措法に位置づけるとともに、本閣僚会議により推進体制を強化することとしたこと等について発言があった。

世耕経済産業大臣から、関係省庁と連携しつつ、福島イノベーション・コースト構想を強力に推進し、浜通り地域における新たな産業基盤の構築を進めること等について発言があった。

### （2）福島イノベーション・コースト構想のこれまでの取組について

福島イノベーション・コースト構想のこれまでの取組について、資料1に基づいて高木内閣府原子力災害現地対策本部長兼経済産業副大臣から報告が行われた。

### （3）福島イノベーション・コースト構想の今後の取組の方向性について

福島イノベーション・コースト構想の今後の取組の方向性について、出席者から、

- ・福島ロボットテストフィールドの活用可能性の検討
- ・安全で着実な廃炉の実現に資する研究開発や人材育成の推進、各学校における先進的な教育実践への支援
- ・ロボット関連産業に必要な人材育成等へ助成を行う福島県の事業に対する支援、生活環境の整備
- ・農林業ロボットの研究開発や水産研究拠点の整備への支援
- ・国土技術政策総合研究所の施設の利用、研究開発拠点の周辺的生活環境の整備
- ・リサイクルや再生可能エネルギー分野における取組の推進
- ・防衛装備庁の試験研究施設の利用や、福島ロボットテストフィールドの利用の検討
- ・福島ロボットテストフィールドにおける性能確認試験、IT政策推進の観点から構想推進に資する施策への支援
- ・情報支援、人材支援、財政支援の地方創生版三本の矢による支援
- ・防災分野の取組について、関係省庁との連携による推進

等について発言があった。

(4) 福島イノベーション・コースト構想の今後の方向性について

福島イノベーション・コースト構想の今後の方向性（案）について、資料2に基づいて吉野復興大臣から説明が行われ、本閣僚会議の決定とされた。

(5) 内閣総理大臣挨拶

最後に、安倍内閣総理大臣から、次の発言があった。

- ・東日本大震災、あの原発事故から、6年以上が経った。福島では、帰還困難区域を除き、ほぼ全ての避難指示が解除され、復興もいよいよ本格化していく。
- ・「福島の復興なくして東北の復興なし。」「東北の復興なくして日本の再生なし。」被災者の声を聞き、その声を復興につなげていく。現場主義が安倍政権の原点である。
- ・福島イノベーション・コースト構想には、地元から大きな期待が寄せられている。正に福島復興の切り札である。先般、この構想を福島復興特措法に位置付けたところであり、浜通り地域においてロボットなど最先端技術の研究開発拠点の整備、産業集積、人材育成を進めていく。本日、そのための基本方針を決定した。
- ・全閣僚が復興大臣である。その意識を全員が改めて確認し、縦割りを打ち破り、政府一体となって取り組んでいかなければならない。福島イノベーション・コースト構想の実現に全力を尽くし、地元の皆さんの期待に応える。受け身ではなく、能動的に取り組んでいく。

(以上)